訓練コース番号【　5-08-27-002-05-5084　】

訓練カリキュラム

訓練実施機関名：　大阪綜合福祉株式会社
訓練実施施設名：　大阪国際介護福祉士養成スクールABC
問合せ先住所：　〒596－0046　大阪府岸和田市藤井町2丁目24-15 2階
問合せ電話番号：　072-430-6607

■土日祝日訓練の有無：　□全日あり　／　□一部あり　／　○なし
■法定講習に係る補講：　○あり　□なし　／　○有料　□無料
■相モデルによる訓練：　○あり　□なし
■合同開催による訓練：　□あり　○なし

訓練の種別	✔ 実践コース（ 05 介護・医療・福祉分野 ）					就職を想定する職業・職種
	＼ 職場復帰支援コース（※基礎コースのみ）		託児サービスコース		短時間訓練コース（月80時間以上100時間未満）	
	「企業実習促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	○	「職場見学等促進奨励金」の支給を希望する場合に「○」を記入	＼		老人福祉施設・障がい者福祉施設職員
訓練科名	介護職員実務者研修科					
募集期間（予定）	令 和 8 年 4 月 30 日　～　令 和 8 年 5 月 22 日					
選考日（予定）	令 和 8 年 6 月 3 日					
選考方法	✔ 面接		筆記試験		その他（　）	
選考結果通知日	令 和 8 年 6 月 10 日					
訓練期間	令 和 8 年 6 月 25 日　～　令 和 8 年 12 月 24 日　（ 6 か月 ）　（ 訓練日数 105 日 ）					
訓練時間	9 時 00 分 ～ 15 時 50 分				訓練定員	12 名
訓練対象者の条件	特になし					
訓練推奨者（特定の者を想定する場合のみ）	□新規学校卒業者	□ニート等の若者	□障がい者	□母子家庭の母等	□被災者	□外国人	□その他（　）
訓練目標（仕上がり像）	介護事業所において、利用者の状況に応じた訪問介護及び施設介護が出来る。					

訓練修了後に取得できる資格			
名称（ 介護福祉士実務者研修 ）	認定機関（ 大阪綜合福祉株式会社 ）	□	任意受験
名称（ 全身性障がい者移動支援従業者養成研修課程 ）	認定機関（ 大阪綜合福祉株式会社 ）	□	任意受験
名称（　）	認定機関（　）	□	任意受験
名称（　）	認定機関（　）	□	任意受験
名称（　）	認定機関（　）	□	任意受験

① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置（IT特例）の適用に係る希望の有無（適用を希望する場合のみ「○」を記入）		
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置（WEB特例）の適用に係る希望の有無（適用を希望する場合のみ「○」を記入）		
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置（DSS特例）の適用に係る希望の有無（適用を希望する場合のみ「○」を記入）		

訓練内容

訓練概要：利用者の尊厳から自立支援に至る介護職員の心構え、法制度の理解、介護支援と人間の基本的欲求等の知識を習得し、利用者、家族に対してチームや地域と連携し、利用者の自立支援に生かす。日によっては、訓練時間が異なる場合があります。【職場見学等推進】

	科目	科目の内容	訓練時間
学科	開講式等	開講式・オリエンテーション(1H) / 修了式(2H)	
学科	人間の尊厳と自立	尊厳の保持、自立自律の支援、ﾉｰﾏﾗｲｾﾞｰｼｮﾝ、ﾌﾟﾗｲﾊﾞｼｰ保護	5時間
学科	社会の理解Ⅰ	介護保険制度	5時間
学科	社会の理解Ⅱ	生活の適応技能、社会生活を送る中での生活と福祉、制度の発達体系財源、自立支援内容	30時間
学科	介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護、法制度	10時間
学科	介護の基本Ⅱ	高齢者、障がい者、ﾁｰﾑの役割安全確保、介護士の健康、安全対策	20時間
学科	コミュニケーション技術	介護におけるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの基本、技術、技法、ﾁｰﾑの情報共有化	20時間
学科	介護過程Ⅰ	介護過程、計画、ﾁｰﾑの情報共有	20時間
学科	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴うこころ、からだの変化と日常生活への影響	10時間
学科	発達と老化の理解Ⅱ	人間の発達、老年期、高齢者に多い症状、疾病	20時間
学科	認知症の理解Ⅰ	認知ケア、生活、支援の関わり方の基本	10時間
学科	認知症の理解Ⅱ	認知症の医学的側面、人や家族、地域ｻﾎﾟｰﾄ体制	20時間
学科	障がいの理解Ⅰ	障がい者福祉理念、生活の特徴、支援の基本	10時間
学科	障がいの理解Ⅱ	障がい者の医学的側面、障がい者や家族支援、地域ｻﾎﾟｰﾄ体制	20時間
学科	こころとからだのしくみⅠ	介護に関係した身体の構造、機能に関する基本的知識	20時間
学科	こころとからだのしくみⅡ(知識)	人間の心理、人体の構造と機能に関する基本的知識	30時間
学科	安全衛生	心身の衛生、安全管理	2時間
学科	医療的ケア	医療的ｹｱの基礎	60時間
学科	全身性障がい者移動支援(知識)	障がい者(児)の福祉制度、移動支援従業者の業務、職業倫理と人権、障がい者の理解・心理、移動介助の基本的知識	12時間
学科			
実技	生活支援技術Ⅰ	ICF、介護の原則、介護技術の基本、環境整備	20時間
実技	生活支援技術Ⅱ	移動、移乗・食事・入浴、清潔保持・排泄・着脱、整容、睡眠時、終末期に利用者の心身に合わせた介護	30時間
実技	介護過程Ⅱ	情報収集、アセスメント、介護計画立案、実施、モニタリング、介護計画の見直し	25時間
実技	介護過程Ⅲ	知識、技術を総合的に活用した介護計画の立案、系統的な介護の提供	45時間
実技	こころとからだのしくみⅡ(演習)	身体の仕組み・心理・認知機能を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・他職種との連携	30時間
実技	医療演習	医療的演習(喀痰吸引、経管栄養総合モデルで実施)	12時間
実技	事前演習	企業実習の目的、介護業務の方法、留意事項、実習記録の書き方と実践(介護記録の入力方法の紹介)	6時間
実技	事後演習	企業実習の目標及び計画の達成状況、介護職員の職務、記録の書き方、振り返り	6時間
実技	全身性障がい者移動支援(演習)	車いすの移乗、外出時の排泄、食事、衣服の着脱、車いすの取り扱い、交通機関利用の介助演習	12時間
実技			
企業実習		□実施しない　✔実施する	84時間
職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】	職場での心構え、失敗・成功話(6H×1)、(6H×1)	12時間
	【職場見学】	利用状況、施設の概要(6H×1)	6時間

訓練時間総合計　612時間　学科 324時間　実技 186時間　企業実習 84時間　職場見学等 18時間

受講者の負担する費用		
教科書代	16,500円	合計 16,860円
その他（ 移動支援従業者演習に係る交通費 ）	360円	
備考　企業実習・職場見学の交通費・健康診断料・法定講習欠席に係る補講費（1000円／時間　税込）が別途発生		

指導方法

訓練形態(個別指導・補講を除く)	✔ 全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する	
	□オンラインによっても指導する(当該日通所可能・混在型)　□オンラインによっても指導する(当該日通所不可・単独型)　オンライン計	時間
施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	開講式時のオリエンテーションにて、施設や教材をいつでも使用できるように案内を行う。講義後に受講者だけのミーティングにも使用された実績も多い。	
受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	休憩時や講義後の相談、キャリコンなどで気軽に相談できるように日頃から話をしています。	

訓練実施施設所在地地図	訓練実施施設住所： 〒　596-0046　大阪府岸和田市藤井町2丁目24-15　2階

訓練カリキュラム(企業実習用)

		科目	科目の内容	訓練時間
訓練内容	実技	生活支援技術実習	基本的な介護技術の実践、安全衛生	50時間
		介護過程実習	介護福祉の役割・一日の流れの確認、支援業務の補助・介護記録・個別処遇計画・ｹｱﾌﾟﾗﾝ・介護日誌についての考察・確認	30時間
			ｺﾐｭﾆﾃｨｰｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰの役割・一日の流れの確認、支援業務の補助・安全衛生	4時間
	その他			
	訓練時間総合計			84時間